

川内原発60年運転許すな

北九州集会市民ら600人参加

田村氏あいさつ

「なぐせ原発一許すな再稼働」と訴える
「さよなら原発」北九州集会実行委員会」は10日、北九州市内で集会を開きました。日本共産党の田村昭隆衆院議員が駆け付け、あいさつしました。党北九州市議団や市民ら600人が参加しまし

た。

深江守事務局長は、「能登半島地震を最後

の教訓とし、原発が廃止されるその日までどもにがんばりましょう」と呼びかけました。田村氏は、能登半島地震被災地に調査に行き、道路破損などで志賀原発周辺の避難経路は確保できず、避難計

画も全く機能しないことが示されたと強調。

地震大国日本で原発とは共存できないことを訴えました。

大手電力会社の消費税は電気料金から取られていることを告発。

関連した政治は、ただしていくと述べ、「原発に依存したエネルギー政策を変えていくため、たたかっていく」



あいさつする田村氏（壇上）と党北九州市議団＝10日、北九州市内

と訴えました。

「福島原発事故の悲

劇を忘れず、川内（せんだい）原発の60年運

転を許すな！」たちに「反対！」などとコールの集会宣言が出されました。

参加者は集会後、

「原発止める！再稼働反対！」などとコールしながら会場からJR小倉駅までをパレードしました。

参加した野澤政治さん（75）は「原発のこともっと関心を持ってほしい」と話しました。